

第70回 石川県山林大会

アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興支援事業概要紹介

令和6年度 林野庁の補助金事業 令和7年度 休眠預金等活用事業

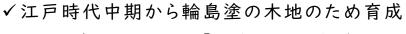
関軒 明宏

(公社)石川県木材産業振興協会 能登ヒバコーディネーター

能登の「アテ林業」と「能登ヒバ」

~能登の歴史・文化を形成し、県民に親しまれてきた世界に誇るべき地域資源~





- √1966年に石川県の「県木」として指定
- ✓2023年に日本森林学会「林業遺産」認定



[特徴①]強度/耐久性・耐湿性・防腐性) [特徴②]ヒノキチオール/防虫効果、癒し効果 [用途] 伝統工芸品、建材、内装、アロマ製品等









能登半島地震・奥能登豪雨の被害と課題

《能登半島地震・奥能登豪雨の被害》



- 山腹崩壊・土砂流出等(100箇所以上)、林道等被害(2,000箇所以上)、木材加工流通施設(30箇所以上)の被害
- 災害や生活インフラの回復の遅れ等による離職(森林組合では15名)や災害復旧対応で、出材量は災害前から半減

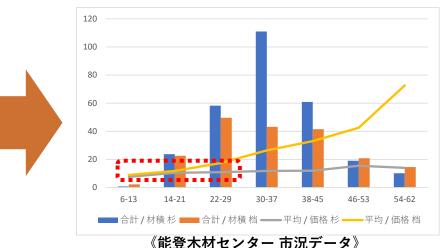
《アテ・能登ヒバの潜在的課題》

◆アテの課題

- ✓ 初期成長が遅い
- ✓ 資源量が少ない

◆能登ヒバの課題

- ✓節が多い
- ✓ 材が捻じれる



◆潜在的な課題

- ✓出材量が少ない
- ✓ 小径木等の価格が低調
- ▶ アテ・能登ヒバの"特色"を 生かす用途が限定的 (合板等が中心で、スギ等と競合)
- ▶ アテの再造林が限定的

「アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興ビジョン」の策定

(序文)

能登半島に息づく、自然と共生し、自然の恵みを活かす生業・暮らし「能登の里山里海」は、世界農業遺産にも認定されるなど、国際的に高く評価されています。

また、能登半島の伝統産業である輪島塗の漆器の木地づくりのために、江戸時代中期から技術体系が確立されてきた「アテ林業・<mark>能登</mark> ヒバ」 は、石川県の県木にも指定されるとともに、日本森林学会の「林業遺産」にも登録されています。

人口減少や、地震・豪雨災害という多くの困難を乗り越え、森林・林業・木材産業の再興と地域の活性化を実現するため、私たちは、 地域の誇りであり、先人達が遺した資産であるアテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興ビジョンを宣言し、以下の5つの取り 組みを実践します。

① 伝統を学び、引き継ぐ

- □ 「空中取り木」や「択伐林経営」など独自の技術を培ってきた林業遺産「能登のアテ林業」の継承
- □ 伝統的な生業・暮らしと自然が一体となった世界農業遺産「能登の里山里海」の継承

② 木の「個性」や「物語」を活かしたリ・ブランディング

- □ 節や捻じれ、香りなど、能登ヒバの「個性」を活かしたデザインの製品開発
- □ アテ林業と歴史・文化、能登の復興をつなぐ「新たな物語(ストーリー)」の発信

③ 「森づくり」と「木づかい」の循環を生み出す

- □ 植林、間伐などの「森づくり」と一体で取り組む素材生産・販売の仕組み(バリューチェーン)構築
- □ 小径木、ろうし病被害木などの未利用資源の利活用、付加価値向上による林業の収益力強化

④ 能登に関わる「人の環(わ)」を拡げる

- □ 能登の現状を伝え、関係人口を増やすための情報発信、イベント等での広報活動
- □ 被災地での復興支援活動、木づかい・森づくり活動等を通じた交流の促進

⑤ 地域に寄り添い、継続的に関わる

□ 地域と共に考え、地域の主体性を尊重しながら、復興に向けた長い道のりを共に歩む



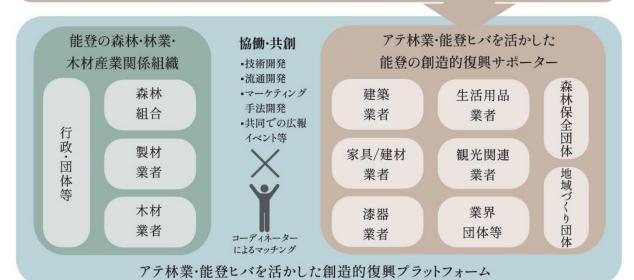




「プラットフォーム」の創設と段階的支援策によるイノベーションの促進

- ▶ 能登森林組合と(公社)石川県木材産業振興協会が連携して、「アテ林業・能登とバを活かした創造的プラットフォーム」を設置
- ▶ 新たな異業種のサプライヤー等の「サポーター」としての参画と、「コーディネーター」等による奥能登地域の事業者・専門家とのマッチング・助言等を通して、「アテ林業」の持続化・「能登ヒバ」の高付加価値化に資するイノベーティブな製品・技術・マーケティング手法等の開発等を促進

アテ林業・能登とバを活かした創造的復興に関心のあるサプライヤー・地域づくり組織等



アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興







《プラットフォームによる協働のステップ》

「ポータルサイト」の開設・情報発信

(能登の実情/事業者等の想い・取組・課題を紹介)

「サポーター」の登録

(ビジョンに替同した異業種のサプライヤー等の参画)

「コーディネーター」等によるマッチング

(多様な資源を繋ぎイノベーティブな協働取組を創出)

イノベーティブな新規事業の創出

(新たな製品・技術・マーケティング手法等の開発)

アテ林業・能登ヒバを活かした 能登の創造的復興を促進

「イノベーション・エコシステム」の創出と新たな協働取組の創出

- ✓「イノベーション・エコシステム」の創出を目指して、段階的・連続的に奥能登地域の事業者を支援策を講じて、「プラットフォーム」のハブ機能を向上
- ✓ 事業者等も異業種との協働で、新たな製品・技術・マーケティング手法等を開発し、「アテ林業」の持続化・「能登ヒバ」の高付加価値化等を促進

①サポーター の募集





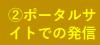














▶被災地や事業者 の実情等を発信

SDGs • 環境貢献 関心層

アテ林業

能登ヒ

に関心を有する企業

団体等

復興支援

関心層

建築・ 設計業

家具・ 建材業

生活用品 雑貨産業

観光・ 交流組織

まち づくり 組織等

マッチング



「アテ林業

能登ヒ

活 サ

か

た創造的復興ビジ

3

に賛同

能登

۲ バ を

アテ林業・能登ヒバを活かした創造的復興に向けた取組の促進

(A)「アテ林業」の持続化に資する協働取組 (例)

参加型活動として コトづくりによる 復興の森づくり

(顧客や従業員参加の 森づくり・ツアー等)

木の個性を活かす 利用と一体の 森林整備協定等

(低質材の高付加価値 化等で所有者に利益還 元する造材・流通)

取扱量等に応じた 再造林基金への 資金拠出

(アテ林特化の「再造林 支援基金 | への拠出)

協働取組



能登地域の 事業者等

森林組合



林研グループ

林業事業体





木材業者

加工業者



製造業者 (漆器産業等)

復興支援組織

(B)「能登ヒバ」の高付加価値化に資する協働取組(例)

木の個性を活かす 技術開発等による 新たな製品開発

(低質材の高付加価 値化を図る製品)

物語性を活かす コトづくりによる 新たな商流開発

(低質材の高付加価値 化を図るコミュニケーション)

トータル体験で 能登ヒバの魅力 の向上

(複数社連携で暮ら し・空間等を提案)

(C) 能登の関係人口の創出に資する協働取組(例)

アテ林の魅力向上 に資する 森林体験型 サービスの創出 (ツアー・森林浴等)

能登の実情の 情報発信

(各社の媒体や、複 数計連携でのツール 開発による発信)

人材派遣や協定 による協働促進

(地域活性化起業人 で副業人材派遣や 協定で取組促進等)

まちづくり組織

③支援体制の拡充

4事業者間マッチング

⑤リーディング・プロジェクトの実施

6伴走支援

78ツール制作・発信

【取組事例】(公社)国際観光施設協会(能登ヒバサポーター)

✓ (公社)国際観光施設協会では、能登半島被災地復興支援委員会を設置して、協会及び会員と連携した創造的復興支援を検討

地域との対話

✓ 2024年8月に視察団を結成し、アテ林業・能登ヒバの現場視察を経て、会員への支援を呼び掛け。2025年2月の「国際ホテル・レストランショー」 では「能登復興支援コーナー」内に能登ヒバ製品等を展示。今後、機関誌や関連雑誌での連載、協会会員等と協働したプロジェクト創出を支援。

2024年8月

「復興支援委員会 視察団」視察













2025年2月

「国際ホテル・レストランショー」展示等













機関誌等での会員 、の呼び

「能登ヒバ サポーター」募集!

(アテ林業・能登ヒバを活かした創造的復興サポーター)









①アテ林業の持続化

②「能登ヒバ」の高付加価値化

③能登の実情の情報発信

④能登の関係人口の創出



アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興フォーラムの開催 【アテ林業・能登ヒバを活かした創造的復興サポーター任命】

令和7年2月26日(水) TKPガーデンシティPREMIUM 金沢駅西口



https:///ate-net.jp/

8 企業・7 団体をサポーターに任命

令和7年10月28日現在 能登ヒバサポーター34 社

アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興フォーラムの開催

令和7年2月27日(水) 奥能登現地視察 参加者20名



三井のアテ林業モデル林

「能登ヒバサポーター」募集の呼びかけ NPO法人 森づくりフォーラム(オンライン配信)

『能登林業の今とこれから』

令和7年6月20日(金) 輪島市 四十沢木材工芸



※出演者※

石川県木材産業振興協会 能登ヒバコーディネーター 関軒 明宏

(株奥能登元気プロジェクト 代表取締役 奥田 和也 加賀木材(株) 開発部 船本 真美

> オンライン参加者 約100名

奥能登の林業・木材産業・漆器産業 視察&交流会 ^{令和7年7月25日(金)・26日(土)}



ハウスあすなろ



林業遺産モデル林



株九内製材所



能登森林組合木材加工所

奥能登の林業・木材産業・漆器産業 視察&交流会 令和7年7月25日(金)·26日(土)





蔦屋漆器店

15名

奥能登の林業・木材産業・漆器産業 視察&交流会 ^{令和7年7月25日(金)・26日(土)}



アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興に向けた支援事業 「リーディング・プロジェクト」アイディア提案の募集

《リーディング・プロジェクトの実施フロー》

7/25 〈関連行事〉「現地視察&交流会」

9月

2月

「リーディング・プロジェクト」提案締切

8/5 「オンラインヒヤリング」

8/中旬 「リーディング・プロジェクト」決定

3/22 「マッチング交流会」「現地検討会議」

> 「リーディング・プロジェクト」 事務局との協働・共創取組実施 アドバイザーによる助言・支援

アテ林業・能登ヒバを活かした 能登の創造的復興を促進

創	川出するモデル手法	想定される取組(イメージ)
1	小径木・中目木の高付 加価値化に資する製 品開発・技術開発	抗菌性や香りとともに、節や捻じれなどを有する「能登ヒバ」の材質特性を"個性"として活かすデザインや技術開発・製品開発を通して、小径木・中目木等の低質材の「能登ヒバ」の高付加価値化を図り、山元還元により「アテ林業」の持続化に資する取組
1	コト消費に対応した関 係人口創出に寄与す るマーケティング手法 の開発	アテ林業が有する歴史・文化、作り手のワザや想い、能登復興支援等の「物語性(ストーリー性)」を紹介したり、清涼で神秘的なアテ林や産地の作り手を訪問する産地ツアー等を行ったりしながら、共感価値を創出し、能登の関係人口の創出にも寄与するマーケティング手法を開発する取組
ì	森林所有者への利益 還元を促進する造材・ 流通手法の開発	小径木等の低質材を高付加価値の用途に対応させる造材や、用途に合わせて製材歩留まり率を改善する造材、用途に対応させた造材とサプライヤー等への直販、SDGs や能登復興支援の観点から再造林・育林経費を商品価格に内部化するなど、森林所有者への利益還元を促進して、再造林・森林整備意欲を高める造材・流通手法を開発する取組
1	森林体験型サービス による「アテ林業・能 登ヒバ」の魅力向上手 法の開発	癒し効果の高いアテ林・能登ヒバの特性を活かした森林浴等のヘルスツーリズム、森林体験で採取した枝葉のアロマ蒸留体験、子育て世代の移住促進 も視野に入れた週末型森のようちえんなど、「森林サービス産業」の創出と 一体となった森林体験型サービスによる「アテ林業・能登ヒバ」の魅力向上 手法の開発等に資する取組
(「能登ヒバ」のトータル の空間体験による魅 力向上手法の開発	多様な製品を有する事業者が連携・協働して、生活シーンに合わせて、多様な製品を複数配置して「能登ヒバで彩る暮らし」を体感できるようなモデルルーム等を設定して、「能登ヒバ」のトータルの空間体験を通した魅力向上手法の開発等に資する取組

アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興に向けた支援事業「リーディング・プロジェクト」8つのプロジェクトを選定

《リーディング・プロジェクト一覧》

タイプ	内容	提案アイデア
	加賀木材株式会社	子育て世代への能登ヒバの体験型マーケティング手法開発および拠点整備の 検討
複合型	フルタニランバー株式会社	ホテル向けの製品開発と客室の木質化を見据えた快適宿泊環境のモデル整 備事業
プロジェクト	一般社団法人 more trees	アテの環(わ)プロジェクト 森と企業の共創
	株式会社長谷萬	能登ヒバを活用した DLT 制作トライアル及び DLT プロダクト開発・普及
	阿部興業株式会社	建具専門メーカーによる「能登ヒバ製 建具・ドア」の開発・普及
個別型	ストーフジャパン合同会社	能登ヒバの抗菌・抗カビ ジェル・防油コーティング剤・耐水コーティング剤等の 開発
プロジェクト	株式会社 NAIA	「コト消費」に寄与する都市部での能登ヒバのワークショップ手法の開発
	能登ヒバを愛する会	森林所有者と連携した体験活動等の受入体制の構築

2025年度「マッチング交流会&現地見学会」の開催

(同時開催:石川県「能登・復興の森づくり」植樹祭、DLT製作実演会)







①2025 年度「マッチング交流会」 (「ZOOM」によるオンライン配信も実施)

【日時】 2025 年 10 月 29 日(水) 13:30~17:15년 【場所】 「金沢セントラルホテル」(金沢駅より徒歩5分)↩

【プログラム】(予定。詳細は 10 月上旬に <u>ATE-NET</u>に公開)←

13:30 開会、能登の林業等の最新情勢・支援策紹介←

13:45 「リーディング・プロジェクト」紹介(各 15 分程度)~

15:30 休憩~

15:45 「能登ヒバサポーター」取組紹介(各8分程度)~

17:00 ふりかえり・インフォメーション

17:15 終了↩

17:30 交流会 (~19:30) ※宿泊は各自ご手配下さいや

②「能登・復興の森づくり」植樹祭・ 現地見学会(製材所・モデル林視察等)

【日時】 2025 年 10 月30日(木) 9:00~15:30← 【場所】 石川県輪島市内←

【プログラム】(予定。詳細は 10 月上旬に <u>ATE-NET</u>に公開)←

9:00 浦上公民館 集合 (送迎/7:00 金沢駅出発)← 「ふるさと共創の森」候補地視察(輪島市浦上)←

9:30 石川県「能登・復興の森づくり」植樹祭 参加□

11:00 移動·昼食←

12:30 輪島市内製材所視察・DLT 製作実演会↓ 「林業遺産モデル林」視察(輪島市三井)↓

15:30 終了(16:00 能登空港・17:30 金沢駅に送迎)→



「能登ヒバサポーター」募集中!



ご清聴ありがとうございました。